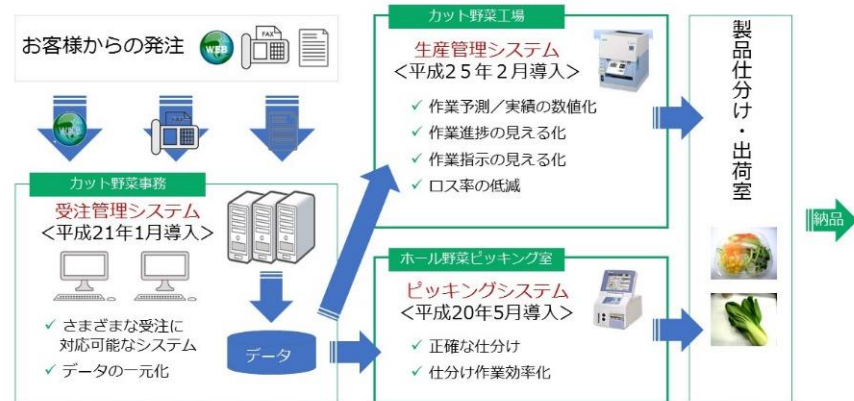


消費者ニーズに対応した「カット野菜事業」拡大をIT活用でサポート

## 事業概要とIT経営への取り組み

倉敷青果荷受組合は、青果卸売業の組合です。安全で衛生的な商品の提供は常に優先課題であり、2009年には卸売市場業界初となる『ISO22000食品安全マネジメントシステム』の認証を取得しました。取り巻く市場の状況が、単身世帯の増加や女性の社会進出、少子高齢化という昨今の傾向から、消費者のニーズにあった加工・業務用野菜（カット野菜）を新たな収益源に位置付けています。一方で新たな商品を展開する上で、特にリードタイムの短縮は、業務の効率化だけでなく、クレームや手戻りの減少にかかわるものであり、リソースの有効活用という点で大きな課題となっていました。

カット野菜部 受注管理・生産管理・ピッキングシステム連携



## 攻めのIT活用（ITを活用した事業革新）の概要と成果

カット野菜事業では2013年より工場に生産管理システムを導入し、それと連動した受注システムでも得意先とのWeb-EDI発注を積極的に推進し、現在まで新たに21社の企業とのデータ交換による受注連携を開始しました。このWebによる受注データ交換の推進と、生産管理システムの導入による品質・顧客満足度の向上により、カット野菜事業の契約社数は2013年度と2015年度の対比で約3割超の増加、店舗数で約3倍、売上高では約40%、導入前の2012年度対比では約50%と大幅増収となりました。

市場青果物の卸売事業では、見積書作成から送り状発行及び、Web-EDIデータと売上データとの照合のシステムを導入し、入力や手動FAXのタイムロスやミス削減によりリードタイムを短縮し、1月あたり約40万円の人件費を削減しました。また同社敷地内に無線LAN（アクセスポイント数は6台）、タブレット端末の導入（20台）、監視カメラ（54台）を設置し、面積20,000㎡の敷地内での確認作業や業務連絡を円滑にし、誤配や品質不良発生時の原因究明及び改善を可能とし、クレームを軽減や顧客満足度向上を図っています。

過去5年間の全事業部合計の売上高の伸びは約1.4倍となっています。